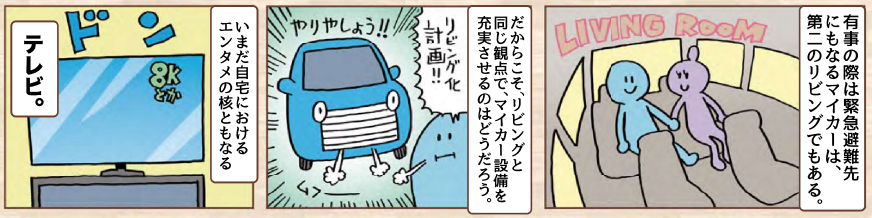
愛車を第二のホームに!

自宅の次は車内!
快適装備の充実でウチでもソトでもリラックス!!

提案 リビングルーム化プランニング

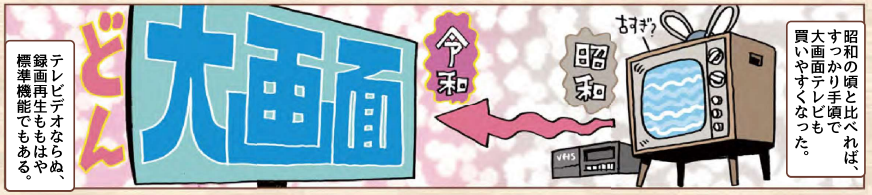
ひとによっては、自宅以上に過ごす時間が多い人もいたりする。



いまだ自宅におけるエンタメの核ともなるテレビ。

だからこそ、リビングと同じ観点で、マイカー設備を充実させるのはどうだろう。

有事の際は緊急避難先にもなるマイカーは、第二のリビングでもある。



昭和の頃と比べれば、すっかり手頃で大画面テレビも買いやすくなった。

テレビデオならぬ、録画再生ももはや標準機能でもある。

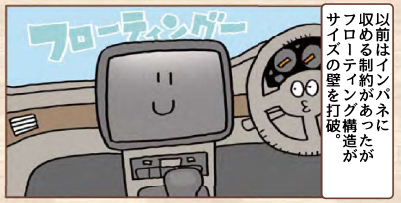
その象徴とも言えるのが『パナソニック ストラーダ F1X』[*1]

いまだに高嶺の花の有機ELも、F1Xなら標準装備なのだ!

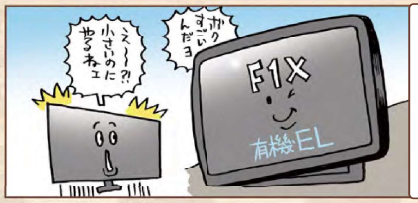
サブスクもお手の物。ネットとつながってあらゆるコンテンツを映し出せる。

片やクルマの中はどうか?

実はリビングの以上の高性能と高機能が身近になっている。



以前はインパネに収める制約があったがフローティング構造がサイズの壁を打破。



その画質たるやリビングのテレビ以上になる場合も。

必要なものは全て揃ったとお考えの皆さんに、こんな提案!

*1 Panasonic **Strada CN-F1X10BGD**(実勢価格:26万円前後)
パナソニック・ストラーダの上級モデルであるFシリーズのなかでも、F1Xを名乗るのはDVDプレーヤー内蔵モデルの『CN-F1X10GD』と合わせた2機種のみ。共に10V型の有機ELディスプレイを搭載する。

※価格は全て税込み/編集部調べ

実は究極のハイテク・テレビはカーナビだった!?

収納サイズは既存ナビと同様の2DIN機とコンパクト。

リビング用のテレビでは、いまじゃすっかり影を潜めたダブル機能だ。[*2]

録画しておいた番組を見る際も、ネット経由で自宅の録画機をリモートで再生できる。

でも実は、この限られた本体サイズにもブルーレイディスクプレーヤーを内蔵している。

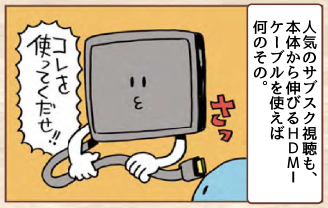
スマホアプリを使って自宅録画機の映像をストリーミング再生!

ちょっとした空き時間でも撮りだめた録画映像を外から観られる

サラウンド効果を生む専用のチューニングは、車内環境を前提に作られてもいる。

車内ゆえの距離感において、その大画面ぶりはリビングと同等にも。

とかく有機ELの大画面ばかりに話が集まるものの、音のクオリティも高い。



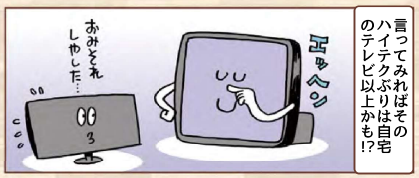
人気のサブスク視聴も、本体から伸びるHDMIケーブルを使えば何のその。

スマートフォンなどをつなげばその操作はリビングと変わらない。

その点クルマのほうが、より高レベルの視聴環境を得やすいとも言えるのだ。

騒音の問題や室内スペースの制約など自宅の環境は制約も多い

陽の向きが変わる車内特有の環境でも、反射を抑える技術的な対応でバッチリ![*3]



言ってみればそのハイテクぶりは自宅のテレビ以上かも!?

*2 **かつては別体も今や内蔵!** ブルーレイディスクプレーヤーを内蔵するモデルは、最上位モデルの『CN-F1X10BGD』のみ。カーナビのなかでもとりわけ別格となる、有機EL×ブルーレイ対応のフラッグシップだ。

*3 **優れた映像再生はドライブシーンを問わず!** 有機ELディスプレイはタッチパネルとの間に空気層がないために元々反射に強い。さらに低反射フィルムを使って表面反射を低減する「HDブリリアントブラックビジョン」も採用して二重にブロックする。